

## (6) 農業・漁業振興について

島しょ部の活性化を図るためには、次代を担う若者が農業・漁業に就くことができる、時代の変化に対応した、効率的で効果的な施策が求められています。

農業では、イノシシによる農作物への食害が広がっていることから、適正な有害鳥獣対策のほか、離農による耕作放棄地<sup>※</sup>対策が課題となっています。

漁業では、魚種の変化や漁獲量の減少のほか、魚価の低迷への対応が課題となっています。

## (7) 良質で安定した水について

島しょ部の簡易水道については、水道事業再編による効率化や合理化が図られていますが、一部の地域では、水質改善のための窒素除去装置の設置や海水淡水化装置の老朽化への対応が課題となっています。

## (8) 定住の促進について

島しょ部では人口流出が続き、平成22年国勢調査の高齢化率は55.9%となり、集落のコミュニティを支える自治会活動や冠婚葬祭など地域の生活共同体としての機能が失われる島の出現が心配されています。この状況を解決するためには定住人口の増加を図るための支援や施策が求められています。

## (9) 社会福祉・高齢化について

一般的に高齢化率が21%を超えると超高齢社会と言われますが、平成22年国勢調査では、島しょ部の高齢化率は55.9%で、超高齢社会の高齢化率をはるかに超える状態となっています。島では一人暮らしの高齢者が多くなり、こうした高齢者への島の実情に応じた支援や施策が求められています。また同時に、在宅介護などの介護サービスの充実が課題となっています。



ターナー島と興居島

**用語解説** 耕作放棄地とは ……

高齢化、過疎化による人手不足で、過去1年間耕作されたことなく、今後数年の間に再び耕作する意思のない農地。遊休農地。

# 4. めざす将来像と推進体制

松山市の島しょ部には、豊かな自然と悠久の歴史に育まれた島固有の誇れる伝統や文化など魅力ある地域資源が数多く残っています。

先人たちによって培われたこうした地域資源を守り育てるとともに、時代の変化に対応した活力ある島として発展していく必要があります。

島びとが生き活きと輝き笑顔があふれると、島を訪れた人々にも笑顔があふれます。このため、「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる<sup>さと</sup>里の島」を創造し、次代に誇れるふるさとを引き継いでいきます。

## (1) めざす将来像

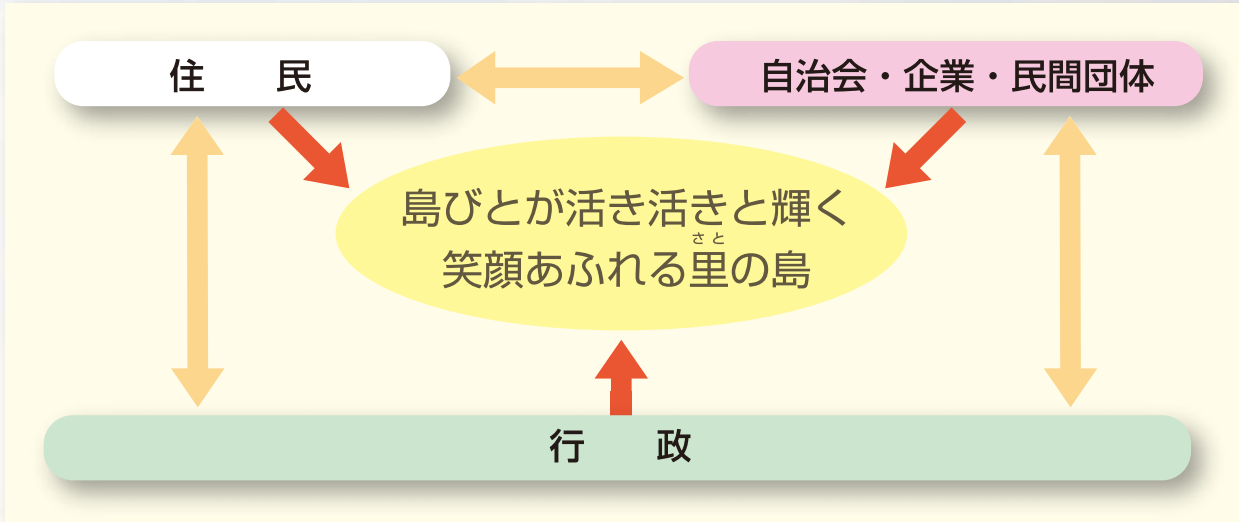
### 島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる<sup>さと</sup>里の島

次の5つの基本政策をもとに、「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる<sup>さと</sup>里の島」をめざし、積極的に挑戦していきます。

#### 基本政策

- ①産業が輝く笑顔あふれる里の島
- ②環境が輝く笑顔あふれる里の島
- ③地域が輝く笑顔あふれる里の島
- ④教育や文化が輝く笑顔あふれる里の島
- ⑤福祉が輝く笑顔あふれる里の島

## (2) めざす将来像実現への推進体制



この推進体制のもとに、まちづくりの主役である住民や、自治会、民間団体などと行政が互いに連携し、めざす将来像を共有しつつ、まちづくりを推進していきます。

## (3) まちづくりのキャッチフレーズ

**暮らして笑顔 来て笑顔 私たちのふれ愛ランド**



# 5. 行政の基本姿勢

「愛ランド里島構想」は各島での意見交換会やアンケートの結果など、多くの皆様からの意見をいただいた上で、松山市の島しょ部全域について「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる里の島」をめざす将来像として策定いたしました。

今後、10年間にわたる本市島しょ部のまちづくりについて、次の基本姿勢で取り組んでまいります。

## (1) 地域や島びとが主役となったまちづくりの推進

将来像の実現のためには、より多くの島びとが自分たちの島に誇りを持ち、島びと自身が地域のかけがえのない存在であると実感することができる環境が必要です。そこで行政は、人と人との絆を保ち、島の宝を磨きながら、地域の理想像の具体化をめざした、島びとの受け身ではなく積極的なまちづくり活動を支援してまいります。

## (2) 各島の個性に応じたまちづくり

本市の島しょ部には、各島ごとに魅力ある固有の地域資源が数多く残っていますが、少子高齢化の進行などにより、祭りや伝統芸能などその継続性が危ぶまれるものがあります。こうした状況を認識した上で、各島の地域資源や個性を尊重し、それらに配慮したまちづくりを進めます。



夕日を背負って(怒和島)〈たなかあつし氏作〉